



# 立教大学コミュニティ福祉学会 第4回年次大会

11.11.12 Sat 13:00~19:00 立教大学新座キャンパス

## 「コミ福の力×社会の力—東日本大震災後のしあわせ・きずないのちをめぐって—」

### 大会テーマからのメッセージ

3月11日に経験した東日本大震災は、コミ福としての私たち一人ひとりに、あまりに多くの問題を投げかけました。今年、コミュニティ福祉学部はスポーツウエルネス学科が完成します。それぞれが学科を超えて、「コミュニティ福祉学部」という自覚と意識を持って、この問題を改めて考えるためにも、今大会は、現役生、卒業生、コミ福を支えて下さる地域の方々、教員の「コミ福の力」を総動員して、復興に向けて、それぞれの分野で活かせる力を共有し、高め合えるものになりたいと思います。

時 間	内 容	
13:00~13:30	開 場・受 付 開 始 於: アカデミックホール (7号館3階)、N211 (2号館1階)	
	会場① アカデミックホール (7号館3階)	会場② N211 教室 (2号館1階)
13:30~14:20	<b>しあわせ</b> 芝田ゼミ (代表・染木真晃) 「無縁社会と震災 震災時に孤立している人への支援」	<b>きずな</b> 河東田ゼミ (代表・佐藤美友貴) 「震災被災地との交流やつながりを考える ～人×情報=∞～今こそつながろう、被災地と!～」
14:20~14:30	休 憩	
14:30~15:20	<b>しあわせ</b> 今井知恵子 (河東田ゼミ) 「震災支援ボランティア活動を通して感じた“揺らぎ”」	<b>きずな</b> 卒業生・在校生有志 (シンポジウム) 【学びあい企画座談会】 私たちのつながりを改めて考える —個人、コミュニティ、社会と私—
15:20~15:30	休 憩	
15:30~16:20	<b>しあわせ</b> 服部ゼミ (代表・田尻麻子) 「大規模災害とソーシャルワーク —東日本震災復興支援を通じて—」	<b>いのち</b> 西村、持永、中畝、林 (シンポジウム) 「地球のいのちと私たちの未来 —“原発”に思うこと」
16:20~16:30	休 憩	
16:30~17:20	<b>しあわせ</b> 医療福祉ゼミ (代表・白田真佑実) 「災害時に 医療ソーシャルワーカーがつかう“ネットワーク”」	<b>いのち</b> コミュニティ福祉学部自殺予防研究グループ【教員】 (代表・福山清蔵) 「東日本大震災と自殺」
17:20~17:40	休 憩	
17:40~18:00	<b>総 会</b> 於: こかげ (4号館1階)	
18:00~19:00	<b>懇 親 会</b> 於: こかげ (4号館1階) 《参加費》 卒業生・一般: 1000円 学生・院生: 無料 教員: 2000円	

### ◆総 会

運営委員長でコミュニティ福祉学部長の松尾哲矢先生のご挨拶の後、1年間の運営委員会の活動についてご報告します。

1. 運営委員長挨拶
2. 年間活動報告
3. 運営委員の承認

### ◆懇親会

総会の後、引き続き行います。軽食と飲み物を用意しています。懐かしい先生や仲間と共に、今年4月に誕生した学生食堂<こかげ>の味をお楽しみください。新しい仲間との「まなびあい」がありますように。

参加費は卒業生と一般の方は1000円、学生と院生は無料です。お気軽にご参加ください。

### ◆発表+シンポジウム

「コミ福まなびあい」は、専門の研究者が集うアカデミックな会としてよりも、むしろ、知識ではなくて知恵を出し合う場、現場での思いを分かち合う場、新たな力を得て再び現場に立ち戻っていけるようなヒントを得る場として設立されました。したがって各発表では、発表者と聴衆が討論に積極的に参加することで活発化させることを目指しています。

#### ◆◆◆◆◆ しあわせ ◆◆◆◆◆

発表者(所属)	テーマ/発表概要
芝田ゼミ 代表・染木真晃 (福祉学科3年 相談援助演習)	<b>無縁社会と震災 震災時に孤立している人への支援</b> ／身寄りのない一人暮らしの人が震災発生時にどのような困難に直面したのか、震災被害により孤立した人はその後どのような生活を送っているのか。現地調査をもとに、震災により改めて見えてきた「無縁社会」の社会的問題性について考察していく。
服部ゼミ 代表・田尻麻子 (福祉学科4年 卒業研究ゼミ)	<b>大規模災害とソーシャルワーカー—東日本大震災復興支援を通じて—</b> ／巨大地震、津波、原発事故。大規模な災害を目の当たりにし、私たちは被災地でのボランティア活動や阪神淡路大震災から復興を遂げた神戸の街、人と防災未来センターを訪ねました。その経験を通じ、ソーシャルワークの視点から私たちに何が出来るのか考えていきます。
今井知恵子 (福祉学科4年 卒業研究 河東田ゼミ)	<b>震災支援ボランティア活動を通して感じた“揺らぎ”</b> ／私は仙台市内にある教会を拠点としたボランティア活動に何度か参加し、被災地の現状と被災された方の悲しみ、苦しみを目の当たりにしてきました。その中で自分自身の心の葛藤や変化もありました。それらを整理し、写真と共に発表したいと思います。
医療福祉ゼミ 代表・白田真佑実 (福祉学科4年)	<b>災害時に医療ソーシャルワーカーがつかう“ネットワーク”</b> ／今年の3月11日に起きた東日本大震災において、病院や避難所などではMSWの活躍があった。危機的状況の中、いかなる考えでどういった行動をしたのか。MSWを目指す私たちが、福島県の2つの病院のMSWを訪ね、直接お聴きしたことで学んだこと・考えたことを、“ネットワーク”というキーワードを掲げ発表したい。

#### ◆◆◆◆◆ きずな ◆◆◆◆◆

発表者(所属)	テーマ/発表概要
河東田ゼミ 代表・佐藤美友貴 (福祉学科3年 相談援助演習)	<b>震災被災地との交流やつながりを考える～人×情報=∞～今こそつながろう、被災地と!～</b> ／「被災地のために何かしたい。でも何をしたらよいかわからない。どの情報を元に動けばいいのだろう。」そんな思いから出発し、仙台の施設にボランティアに行きました。twitterやIVYフェスタで情報発信をおこなってきたこれまでの活動を振り返り、考察し、お伝えします。
卒業生・在校生有志 コーディネーター: 大冨賀政明(卒業生3期生) シンポジスト:相原耕平(卒業生2期生) 飯村新司(卒業生3期生) 青木彩香(4年生) 舟山諒(2年生)	<b>【学びあい企画座談会】私たちのつながりを改めて考える—個人、コミュニティ、社会と私—</b> ／今回の発表は、学びあい企画の座談会として企画されました。多様な視点から話が展開されることを期待して、被災地に派遣された経験を持つ卒業生2名と被災地と関わりをもった現役生2名に登壇していただきます。その報告を基に、震災を機に考える私たちをとりまく多様な「つながり」について焦点をあて、会場の参加者とともに考えたいと思っています。

#### ◆◆◆◆◆ いのち ◆◆◆◆◆

発表者(所属)	テーマ/発表概要
コーディネーター: 西村裕美 (コミュニティ政策学科教員) 発表者: 持永祥吾(コミュニティ政策学科1年生) 中畝千明(コミュニティ政策学科1年生) 林敬一(卒業生1期生)	<b>地球のいのちと私たちの未来—“原発”に思うこと</b> ／福島第一原子力発電所の爆発後、私たちは放射能汚染にさらされ続けている。原子力という最先端の核エネルギーに象徴される「繁栄」ということの「つけ」が、いま私たちに回ってきている。この放射能汚染から私たちは今後ずっと免れることはできないだろう。コミュニティ福祉学部の理念である「いのちの尊厳のために」ということを念頭に置きながら、地球のいのちと私たちの未来を「原発」との関わりで考えてみたい。
コミュニティ福祉学部 自殺予防研究グループ 代表・福山清蔵 (コミュニティ福祉学部教員)	<b>東日本大震災と自殺</b> ／今回の東日本大震災を受けて震災に関連した自殺の動向について報告します。内閣府では震災関連自殺に関心を持って統計と対策に取り組もうとしています。これまでの震災関連自殺の実態の一端を紹介しつつ今後に向けてどのように考えていくか手がかりを得たいと思います